

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費		
事業名	庁舎維持管理費			担当課	消防署		予算書頁	P151
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
15,033千円		13,109千円		1,924千円		14.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		15,033千円		

【事業の目的】

消防庁舎の維持管理、修繕及び消耗品の購入など、職員の働く環境の整備を行う。

【事業の概要】

○消耗品費	56千円	○燃料費	1,368千円
○光熱水費	3,924千円	○修繕料	1,050千円
○手数料	66千円	○委託料	6,273千円
○使用料及び賃借料	1,896千円	○備品購入費	400千円

【財源内訳】

○-

【主な内容】

- ① 庁舎維持管理
庁舎の経年劣化に伴う修繕、設備点検や清掃の委託に係る経費など、職員の働く環境の整備を図る。
- ② 光熱水費、各種使用料
日々の業務で要する光熱水費等を支出する。
- ③ 施設等修繕料
高圧ケーブルの入替、冷暖房機の修繕を行う。
- ④ 委託料
消防緊急通信指令システムの保守契約（5年間）が満了するため、再契約を行う。
- ⑤ 借地料
庁舎及び分団庫の借地に係る借地料を支出する。
- ⑥ 備品購入費
無線機械室のエアコンを更新する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費		
事業名	職員研修費		担当課	消防署		予算書頁	P151	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
521千円		355千円		166千円		46.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		521千円		

【事業の目的】
 消防学校等での教育、各種研修会等に参加することにより、現場活動や違反是正などに必要な知識、技術を習得し、適切な消防業務を行う。

【事業の概要】
 ○旅費 75千円
 ○負担金 446千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①消防学校初任科教育負担金
 県消防学校において半年間、新採用職員が消防士としての基本的な知識と技術を習得するための教育を受講する。

②職員研修負担金
 消防学校等で開講される各種専科教育を受講し、職員の質の向上を図る。

③各種技能講習の受講
 大雪時の緊急出動、災害時に対応するため、ホイールローダーの運転技能講習を受講する。

④各種技能講習の受講 **【新規】** [148千円]
 緊急自動車の運転にかかる技能、安全教育を専門機関(安全運転中央研修所)で受講する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費		
事業名	常備消防諸経費		担当課	消防署		予算書頁	P152	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,934千円		4,786千円		1,148千円		24.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		368千円		5,566千円		

【事業の目的】
 消防業務を的確に遂行し、各種分科会や総会等への参加及び各種防火団体との連携により、火災予防対策の強化を図る。

【事業の概要】

○報償費	160千円	○旅費	48千円
○消耗品費	775千円	○印刷製本費	45千円
○通信運搬費	2,612千円	○手数料	19千円
○使用料及び賃借料	686千円	○予防資材代	20千円
○備品購入費	1,324千円	○負担金	245千円

[財源内訳]
 ○行政財産目的外使用料 132千円
 ○危険物施設許可手数料等 200千円
 ○自動販売機設置・電気料等 36千円

[主な内容]
 ①一般事務用経費
 各種事務処理作業に要する消耗品等を購入する。

②通信運搬費
 電話代、119通報システムの利用料等に係る経費を支払う。

③総会、分科会等旅費及び負担金
 各種分科会、消防長会等の各種団体に係る負担金を支払う。

④消防救急デジタル無線UPS更新
 H25年度に導入した消防救急デジタル無線の本部基地局UPS(無停電電源装置)を更新し、停電時のシステム障害を防止する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費		
事業名	常備車両等管理費			担当課	消防署		予算書頁	P153
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,097千円	3,663千円		1,434千円		39.1%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		5,097千円		

【事業の目的】
 常備消防車両等の維持管理運用並びに消防活動に必要な備品を整備することにより、様々な災害に対応した迅速な出動、安全確実な現場活動を行う。

【事業の概要】
 ○消耗品費 283千円 ○燃料費 1,142千円
 ○修繕料 2,499千円 ○手数料 683千円
 ○備品購入費 112千円 ○公課費 378千円

[財源内訳]
 ○-

- [主な内容]
- ①消防車両維持管理
 消防車両の車検、メンテナンスや不良箇所の修繕などを実施し現場活動に備える。
 - ②機械器具の購入・修繕
 現場活動に必要な機械器具の購入・修繕を実施し適切な現場活動を行う。
 - ③設定手数料
 北谷基地局ADSL終了に伴い無線設備設定を変更し現場との適切な無線通信を行う。

区 分	消防本部・署
普通ポンプ車	2台
水槽付きポンプ車	1台
多目的ポンプ車	1台
救助工作車	1台
救急車	3台(予備車含む)
指令・指揮車	2台
広報車	2台
作業車	1台
軽可搬ポンプ	2台

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 救急業務費		
事業名	救急業務費			担当課	消防署		予算書頁	P153
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
4,114千円	4,033千円		81千円		2.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,114千円		

【事業の目的】
 救急資器材の維持管理、各種消耗品の充実並びに出動隊員の育成を行い、適切な現場活動に資する。

【事業の概要】
 ○報償費 17千円 ○旅費 39千円
 ○消耗品費 427千円 ○燃料費 747千円
 ○修繕料 30千円 ○通信運搬費 312千円
 ○手数料 405千円 ○保険料 37千円
 ○委託料 296千円 ○使用料及び賃借料 2千円
 ○訓練用資材代 4千円 ○備品購入費 1,661千円
 ○負担金 137千円

[財源内訳]
 ○-

- [主な内容]
- ①救急、救助事案への対応
 救急資器材の維持管理や出動に係る機械器具や消耗品等を適切に配備し、現場活動に対応する。
 - ②各種研修、講習への参加
 現場活動に必要な知識、技術を習得するための研修や講習に参加し、現場活動に資する。
 - ③マイナ救急運用費 【新規】 [201千円]
 救急業務でマイナ保険証を活用することで、傷病者情報等を取得して円滑な救急搬送につなげる。

救急件数(1月から12月)					R8.2.3現在
R4	R5	R6	R7	R8(1月のみ)	
930件	930件	1022件	972件	103件	

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 救急業務費		
事業名	救急対策事業費			担当課	消防署		予算書頁	P154
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
769千円	413千円		356千円		86.2%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		769千円		

【事業の目的】

救急救命士の育成に係る気管挿管実習及び医療機関と連携したクラウド救急医療連携システムを利用することで、救急体制の充実を図る。

【事業の概要】

- 消耗品費 30千円
- 燃料費 52千円
- 手数料 8千円
- 委託料 4千円
- 負担金 675千円

【財源内訳】

○-

【主な内容】

- ①救急救命士気管挿管実習
資格取得の為、救急救命士の気管挿管実習を行い救急活動の質の向上を図る。
- ②クラウド救急医療連携システム負担金
12誘導心電図及び画像伝送のシステムを活用することで、適正な医療機関への搬送を行う。

クラウド救急医療連携システム活用実績(1月~12月)

R4	R5	R6	R7	R8(1月のみ)
40件	30件	71件	59件	14件

R8. 2. 3現在

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 非常備消防費		
事業名	消防団員等報酬費			担当課	消防署		予算書頁	P154
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
11,919千円	12,328千円		△ 409千円		△ 3.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		11,919千円		

【事業の目的】

消防団活動に従事する消防団員に年額報酬及び出勤報酬を支給する。

【事業の概要】

- 報酬 11,919千円

【財源内訳】

○-

【主な内容】

- ①消防団員年額報酬
消防団員に対して年額報酬を支給する。
- ②出勤報酬
火災等の出勤に対し、出勤報酬を支給する。

消防団員の配置 (定員299名) R8. 4. 1 予定

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	1	2			1	2	28	44
大規模災害団員							10	
特設分団			1	1	2	2	14	20
第1分団			1	1	2	2	14	20
第2分団			1	1	2	2	14	20
第3分団			1	1	2	2	14	20
第4分団			1	1	2	3	18	25
第6分団			1	1	2	3	23	30
第7分団			1	1	2	3	18	25
第8分団			1	1	2	3	18	25
第9分団			1	1	2	3	18	25
第10分団			1	1	2	3	18	25
第11分団			1	1	2	3	13	20
合計	1	2	11	11	23	31	220	299

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 非常備消防費		
事業名	消防団活動費			担当課	消防署		予算書頁	P154
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
14,227千円	14,185千円		42千円		0.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
69千円		0千円		0千円		14,158千円		
【事業の目的】 消防操法大会及び各種研修会への参加など、消防団の活動を充実させ、消防体制の向上を図る。								
【事業の概要】								
○報償費	201千円							
○旅費	6,210千円							
○消耗品費	735千円							
○食糧費	50千円							
○印刷製本費	18千円							
○使用料及び賃借料	74千円							
○備品購入費	103千円							
○負担金	6,836千円							
【財源内訳】								
○大規模災害団員等確保推進事業補助金 69千円								
【主な内容】								
①費用弁償 訓練、警戒等に参加した際の手当を支給する。								
②被服費 【新規】 [105千円(県69千円)] 大規模災害消防団員の被服を購入する。								
③負担金 消防団員の教育や公務災害補償等共済掛金に係る負担金を支払う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 非常備消防費		
事業名	非常備車両等管理費			担当課	消防署		予算書頁	P155
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,409千円	1,486千円		△77千円		△5.2%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,409千円		
【事業の目的】 非常備消防車両等の維持管理、運用を行い、消防団員が災害に出動し迅速に対応できるよう備える。								
【事業の概要】								
○消耗品費	122千円							
○燃料費	216千円							
○修繕料	838千円							
○手数料	11千円							
○公課費	222千円							
【財源内訳】								
○-								
【主な内容】								
①消防団車両維持管理 消防団車両の車検メンテナンスや不良個所の修繕などを行い、現場活動に備える。								
消防団保有車両、ポンプ								
R8.4.1現在								
普通ポンプ車		2台						
積載車		11台						
小型動力ポンプ		11台						
消防団出動件数 (R6.4.1~R7.3.31)								
出動種別		件数		出動団車両延台数				
火災		2件		5台				
水防		1件		6台				
救助		0件		0台				
警戒		6件		35台				
車両点検		143件		144台				
教養訓練		158件		103台				
その他		31件		168台				

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 消防施設費		
事業名	消防施設維持管理整備費			担当課	消防署		予算書頁	P155
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
6,833千円	6,619千円		214千円		3.2%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		6,200千円		0千円		633千円		

【事業の目的】
 消火栓看板の補修、自衛消防隊の可搬式ポンプの更新及び各地区の消火栓ホース等の消防施設の整備に対する助成を行うことで、火災発生時の消火活動を適切に行う。

【事業の概要】
 ○補修用資材代 431千円
 ○備品購入費 6,292千円
 ○補助金 110千円

【財源内訳】
 ○緊急防災・減災事業債（消防施設整備事業） 6,200千円

【主な内容】
 ①可搬式動力ポンプ一式購入5地区
 狭隘地に適した小型ポンプに更新する。
 ②消火栓標識の補修
 老朽化した消火栓標識を補修し火災発生時に迅速に水利確保ができるよう備える。
 ③自衛消防整備事業補助金
 各地区の消火栓ホース等の施設整備に対して助成を行う。

自衛消防整備事業補助金 補助率

小型動力消防ホース	購入価格の2/3
消火栓器具一式	購入価格の2/3
消火栓用ホース	購入価格の2/3
金属製屋外用消火栓箱	購入価格の2/3
小型動力消防ポンプ格納庫	工事費の1/3以内 15万円を上限
ホース乾燥柱一式	工事費の1/3以内 10万円を上限

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 消防施設費		
事業名	水道会計消火栓負担金			担当課	消防署		予算書頁	P155
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
4,480千円	4,480千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,480千円		

【事業の目的】
 消火栓について、既設消火栓の不良箇所修繕等の維持管理、地域事情の変化に対応した新規設置及び移設等を行う。

【事業の概要】
 ○負担金 4,480千円

【財源内訳】
 ○-

【主な内容】
 ①消火栓維持、設置負担金
 消火栓の維持管理費及び消火栓の新設、移設に係る負担金を支払う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 水防費		
事業名	水防活動費		担当課	消防署		予算書頁	P156	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
532千円		547千円		△ 15千円		△ 2.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		532千円		
<p>【事業の目的】 水防活動に従事する消防団員の報酬並びに必要な資器材の維持管理整備を行い、水害に備える。</p> <p>【事業の概要】 ○報酬 264千円 ○旅費 145千円 ○消耗品費 70千円 ○水防資材代 53千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①水防団員出動報酬 水害等の出動に対し、出動報酬を支給する。</p> <p>②費用弁償 水防訓練等に参加した際に手当を支給する。</p> <p>③水防資材、消耗品代 水防活動に必要な土嚢やその他の資材を購入する。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費		
事業名	教育委員会運営費		担当課	教育総務課		予算書頁	P157	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,892千円		1,892千円		0千円		0.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,892千円		
<p>【事業の目的】 教育の機会均等、教育の持続性、安全性を確保するとともに、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る為に教育委員会を運営する。</p> <p>【事業の概要】 ○報酬 1,776千円 ○旅費 18千円 ○交際費 70千円 ○消耗品費 11千円 ○通信運搬費 17千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①教育委員会の開催 教育行政の推進の為、必要な事項について協議・決定する為に月1回定例教育委員会を開催する。(必要に応じ臨時会を開催) 教育委員5名(内1名教育長)</p> <p>②教育委員会交際費 教育行政の円滑な執行を図るために、教育長等が教育委員会を代表して外部との交際を行う。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費		
事業名	事務局諸経費			担当課	教育総務課		予算書頁	P158
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
17,595千円	17,407千円		188千円		1.1%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,812千円		0千円		0千円		15,783千円		
【事業の目的】								
地域の实情に即した教育行政の推進をめざし、職員の適正配置や教育委員会関係組織における各種事務の遂行を行い、事務局業務の円滑な運営を図る。								
【事業の概要】								
○報酬	10,292千円	○職員手当等	3,989千円					
○共済費	2,298千円	○報償費	39千円					
○旅費	110千円	○消耗品費	352千円					
○燃料費	65千円	○食糧費	2千円					
○印刷製本費	14千円	○修繕料	50千円					
○通信運搬費	174千円	○手数料	24千円					
○使用料及び賃借料	22千円	○負担金	149千円					
○公課費	15千円							
[財源内訳]								
○部活動推進事業補助金 1,812千円								
[主な内容]								
①教育監の配置 切れ目のない教育システムを構築するため、それぞれの年代を繋ぐための企画調整を行う有識者を配置する。中学校再編推進1名、幼小連携1名、中高連携1名。								
②教育長協議会、教育委員会連絡協議会等の活動 教育行政の進展を図り、教育水準の向上に資する為に、県・東海北陸・全国で組織している各種協議会や教育長会議への参加、国への文教施策等に係る要望を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	教育指導費			担当課	教育総務課		予算書頁	P158
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
46,193千円	46,171千円		22千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,584千円		0千円		0千円		43,609千円		
【事業の目的】								
各小中学校が教育目標に掲げる学校づくりを推進する為に、教職員の資質向上や業務負担軽減、児童生徒の充実した学校生活や学習支援の実現に資する、適切な指導や支援等を図る。								
【事業の概要】								
○報酬	31,604千円	○共済費	4,870千円					
○報償費	133千円	○旅費	128千円					
○消耗品費	259千円	○燃料費	8千円					
○通信運搬費	56千円	○使用料及び賃借料	1,723千円					
○備品購入費	314千円	○負担金	93千円					
○補助金	7,005千円							
[財源内訳]								
○補習等のための指導員等派遣事業補助金 2,537千円								
○学校基本調査委託金 23千円								
○教育支援体制整備事業補助金 24千円								
[主な内容]								
①学校支援員の配置 学校内における学習面や生活面で教育的支援が必要な児童及び生徒に対し、支援や介助を行うため、各種支援員を小中学校へ配置する。								
②学校運営協議会の設置 国の指針に基づいた協議会を運営し、学校と地域による特色ある学校づくりの推進を図る。								
③勝山高校魅力向上活動支援事業 勝山高校の魅力向上に寄与するため、同校生徒が平日夜間に利用できる自習室を開設し、生徒の質問に対応できるよう学生アルバイトを配置する。								
勝高自習室利用状況								
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)			
人数(人)	1,083	1,617	1,642	2,352	-			
日数(日)	162	165	166	168	168			
1日平均(人)	7	10	10	14	-			
【次頁へ】								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	教育指導費			担当課	教育総務課	予算書頁	P158	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
46,193千円	46,171千円		22千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,584千円		0千円		0千円		43,609千円		

【前項より】

④中学校統合に向けた連携活動事業の推進

勝山中学校の開校に向け、今まで以上に小学校や中学校同士の連携や交流及び小中や中高の連携強化を図り、これまで個々の小学校、中学校で行ってきた活動をより広げる形での交流活動や連携活動に対して支援を行う。

⑤勝山高校海外研修旅行費補助金 【新規】[3,500千円]

子供たちの英語力向上や異文化理解の増進に向けた取り組みの集大成として、勝山高校入学後も生徒がさらに語学力やコミュニケーション能力に磨きをかけ、より多くの生徒が海外研修を経験できるよう、勝山高校が実施する英語を公用語とする国への海外研修旅行費用の一部を助成する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	道徳教育総合推進事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P159	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
200千円	100千円		100千円		100.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
200千円		0千円		0千円		0千円		

【事業の目的】

多世代との交流を通して、道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深めるため、小学生を対象とした保護者・地域参加型の授業を実施する。

【事業の概要】

- 報償費 80千円
- 消耗品費 120千円

[財源内訳]

- 道徳教育総合推進事業委託金 200千円

[主な内容]

①親子で学ぶ道徳講座

道徳アンケートやワークショップ、教育講演会を実施して、いじめや思いやりの心について親子で一緒に考え、学ぶ機会を設け、道徳心の育成・向上を図る。

(実施校：成器西小学校、鹿谷小学校)

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	外国語指導助手設置事業費		担当課	教育総務課		予算書頁	P160	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
15,520千円		10,927千円		4,593千円		42.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		15,520千円		

【事業の目的】
 学習指導要領に基づき、小学校3・4年生は外国語活動、5・6年生は教科「外国語科」が実施されており、いつでも、どこでも、主体的に英語を使えるよう環境の整備を図る。

【事業の概要】

○報酬	11,019千円
○共済費	1,825千円
○旅費	700千円
○消耗品費	32千円
○燃料費	19千円
○使用料及び賃借料	472千円
○負担金	1,453千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①外国語指導助手(ALT)の配置 **【拡充】** [3,774千円]
 現在小学校に2名のALTを配置しているが、8月から3名配置(1名増員)とすることで、児童との交流時間を増やす。また、教員との打合せやCIRとの連携を図ることで、学校や児童に合わせた英語教育の推進につなげる。
 全小学校の外国語授業では、チームティーチング指導を3・4年生は週1回、5・6年生は週2回実施する。また教材作成の補助なども行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	ESD推進事業費		担当課	教育総務課		予算書頁	P160	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
7,428千円		4,220千円		3,208千円		76.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,117千円		0千円		0千円		5,311千円		

【事業の目的】
 児童生徒が環境保全・伝統芸能継承・産業文化の学習等様々な体験・地域交流を行う中で、社会における多様性や連携性、責任性等の認識・理解に繋げ、持続可能な社会の創り手の育成を図る。
 また、北陸新幹線が県内まで開業し、多くの観光客が来訪するにあたり、児童生徒が郷土の先人や歴史、自然、伝統・文化、観光資源等を学ぶとともに、地域の自然や文化等に関わる活動を通して地域の魅力に気付き理解を深め、ふるさとを愛する心と社会に貢献する志を育成する。

【事業の概要】

○報償費	559千円	○消耗品費	697千円
○印刷製本費	35千円	○通信運搬費	7千円
○保険料	1千円	○委託料	105千円
○使用料及び賃借料	4,508千円	○備品購入費	1,516千円

[財源内訳]
 ○福井の食の未来を支える食育推進事業補助金 75千円
 ○環境・エネルギー教育支援事業補助金 1,842千円
 ○ふるさと未来デザイン事業補助金 200千円

[主な内容]
 ①小中学校の「総合的な学習の時間」
 変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する為に、農業体験、福祉学習、伝統芸能学習、地域学習、環境学習及びキャリア教育等を実施する。

②エコ環境都市に向けた環境教育への充実
 自分達のくらしを支える多様なエネルギーの特徴を学び、理解を深める為に、国庫補助金を活用して施設見学や教材用備品の整備を行い、エネルギーと地球環境や資源との関わりについて考える力を養う。
 また自然体験学習の一環として「勝山自然塾」に参加する。(市内小学5年生対象)

③地域に学ぶ「14歳の挑戦」事業
 社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を養う為に、将来を見据えた進路選択を考える機会の1つとして、中学2年生を対象に市内事業所の協力の下、職場体験を実施する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育指導費		
事業名	ESD推進事業費		担当課	教育総務課		予算書頁	P160	
R8当初予算額(A)	7,428千円		R7当初予算額(B)	4,220千円		増減額(C)=(A)-(B)	3,208千円	
						増減率(D)=(C)/(B)	76.0%	
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
2,117千円		0千円		0千円		5,311千円		

【前項より】

④プログラミング学習を活用した地域課題への取組
身近な環境整備に関する課題への取組として、プログラミングしたお掃除ロボットで解決する方法などを通して、探求的に考える力を養う。

⑤ふるさと未来デザイン事業 【新規】 [400千円(県200千円)]
児童生徒が自らの地域を探求して、発信できる人材を育成する。
※令和8年度より事業開始、5年間ですべての小中学校で実施予定。

⑥JAM福井勝山マウンテンリゾートリフト券購入費 【新規】 [2,246千円]
小学校スキー教室、中学校スキー遠足を通して地域の自然や文化に対する理解を深め、地元への愛着心を深めるべく、リフト券等購入費を助成し、雪国ならではの教育体験を推進する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	04 青少年育成費		
事業名	青少年センター管理運営費		担当課	教育総務課		予算書頁	P161	
R8当初予算額(A)	13,347千円		R7当初予算額(B)	12,795千円		増減額(C)=(A)-(B)	552千円	
						増減率(D)=(C)/(B)	4.3%	
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,657千円		0千円		0千円		11,690千円		

【事業の目的】
適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー及び青少年指導員を配置し、教育相談や自立支援、青少年育成関係者の研修及び青少年育成に関する情報提供などを行い、青少年の健全育成を図る。
不登校適応指導教室を設置し、家庭、学校と連携しながら、一人ひとりに応じた学校復帰、自立支援を図る。
青少年センターの円滑な運営及び施設・設備の適正な維持管理を図る。
青少年育成勝山市民会議が母体となり、家庭・地域・学校・行政が連携した市民総ぐるみの育成活動を展開することにより、次世代の健全な成長を目指す。

【事業の概要】

○報酬	7,057千円	○職員手当等	2,097千円
○共済費	1,489千円	○報償費	25千円
○消耗品費	163千円	○燃料費	82千円
○光熱水費	243千円	○修繕料	30千円
○通信運搬費	73千円	○委託料	1,585千円
○使用料及び賃借料	13千円	○補修用資材代	10千円
○補助金	480千円		

[財源内訳]
○スクールソーシャルワーカー配置事業委託金 1,657千円

【主な内容】

①適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー及び青少年指導員の配置
児童・生徒を取り巻く環境の問題解決や、家庭や学校と連携しながら、一人ひとりに応じた学校復帰、自立支援等を行う。

②施設の維持管理
施設の維持管理のため、清掃業務や警備業務を委託する。

③青少年健全育成推進事業
青少年育成勝山市民会議を母体とした「かつやまっ子応援ネットワーク」等が行う青少年育成に関する事業への助成や、青少年健全育成のための啓発等の事業を行う。

④青少年育成勝山市民会議補助事業
青少年育成勝山市民会議が実施する子ども安心県民作戦事業に対して助成を行い、小中学生の見守り活動及びかけこみ110番看板作成活動を支援する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	06 教育会館費		
事業名	教育会館管理運営費			担当課	教育会館		予算書頁	P162
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
21,096千円	22,672千円		△ 1,576千円		△ 7.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		275千円		20,821千円		

【事業の目的】
教育文化の振興に寄与するため、広く市民の利用に供する施設として、教育会館の円滑な運営及び施設・設備の維持管理を図る。

【事業の概要】

○消耗品費	156千円	○燃料費	83千円
○光熱水費	7,060千円	○修繕料	730千円
○通信運搬費	46千円	○手数料	11千円
○委託費	12,930千円	○使用料及び賃賃料	39千円
○補修用資材代	35千円	○負担金	6千円

[財源内訳]
○教育会館使用料 240千円
○自動販売機設置・電気料等 34千円
○施設公衆電話料 1千円

[主な内容]
①産業廃棄物収集運搬処分業務
教育会館の改修に伴い、不要な備品等の収集運搬及び処分を実施する。
②教育会館の貸館、施設管理、法定点検等の実施
施設内設備の保守・管理などを適切に行う。

教育会館利用者数 (人)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
利用者数	34,786	37,406	35,581	38,000	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校管理運営費			担当課	教育総務課		予算書頁	P163
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
98,321千円	99,203千円		△ 882千円		△ 0.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,869千円		0千円		157千円		96,295千円		

【事業の目的】
小学校において教育課程を実施するために必要な経費を負担し、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

○報償費	1,038千円	○消耗品費	8,979千円
○燃料費	5,944千円	○食糧費	899千円
○印刷製本費	871千円	○光熱水費	41,783千円
○修繕料	1,200千円	○通信運搬費	1,172千円
○手数料	303千円	○保険料	155千円
○委託料	30,228千円	○使用料及び賃賃料	1,742千円
○備品購入費	4,005千円	○負担金	2千円

[財源内訳]
○小学校施設使用料 151千円
○学校生活ボランティア推進事業補助金 68千円
○ふくいの食育推進事業補助金 513千円
○給食費負担軽減交付金 1,288千円
○給食費個人負担金等 5千円
○施設公衆電話料 1千円

[主な内容]
①小学校(9校)の管理運営
学校運営に係る事務や衛生管理、学習環境整備等に係る必要経費を、年間を通して計画的に有効に執行し、円滑で適正な学校管理に努める。
②プール授業の委託
市営温水プールの指定管理者にプール授業の指導を委託することで、高度な指導と天候に左右されない安定した環境での授業運営に努める。夏季休業中のプール開放も同施設で実施する。
③給食への顔が見える給食米使用の推進
勝山市内の米作り農家・農業法人と協力し、生産者が分かる「顔が見える給食米」を給食で使用することで安心安全でおいしいご飯を供給するとともに児童の郷土愛を醸成し、食や農業への興味関心を深める。
④ふくいの食育推進事業 【新規】[854千円(県513千円)]
昨年6回行った県の補助事業である地場産プラスワン給食について、全て勝山市産の食材を利用し年10回実施することで、地元産の食材の魅力に触れる食育を展開する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校施設管理費			担当課	教育総務課	予算書頁	P164	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
104,397千円	98,980千円		5,417千円		5.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		104,397千円		

【事業の目的】

小学校施設・設備の維持管理を適切に行い、安全で良好な学校生活の維持を図る。

【事業の概要】

○給料	55,009千円
○職員手当等	17,462千円
○共済費	11,012千円
○手数料	109千円
○委託料	6,523千円
○使用料及び賃借料	14,282千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

- ①調理員、施設員（会計年度任用職員）の配置
調理員16人、施設員7人を配置し、児童の安全で良好な学校生活をサポートする。
- ②施設の維持管理
小学校施設の電気、機械等の法定点検並びに警備、清掃及び庭木の剪定など施設の維持管理を行う。
- ③給食室のねずみ・昆虫防除業務の委託
専門業者によるねずみ・昆虫防除の定期点検（2ヶ月に1回）を行い、給食室の衛生環境を向上し、給食の安全性を高める。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校保健管理費			担当課	教育総務課	予算書頁	P164	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,538千円	3,468千円		70千円		2.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
28千円		0千円		409千円		3,101千円		

【事業の目的】

学校保健安全法等に基づき、児童及び教職員の健康診断や検査等を実施し、疾病の予防、適切な措置及び早期治療の実施を図る。また学校教育の円滑な実施に資する為、災害共済に加入し、学校の管理下における児童の災害に対して補償を図る。

【事業の概要】

○報償費	56千円
○委託料	2,628千円
○負担金	833千円
○補助金	21千円

[財源内訳]

○日本スポーツ振興センター負担金	392千円
○子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金	28千円
○日本スポーツ振興センター災害共済補助金	17千円

[主な内容]

- ①健康診断、ストレスチェック事業
学校における児童や教職員の健康の保持増進を図るため、健康診断等を実施する。
- ②子どもの目と歯の健康プロジェクト事業
乳歯のむし歯治療と、永久歯のむし歯予防対策を推進するため、小学校1・4年生の全児童を対象として、秋に状態観察と治療勧告を行う。
- ③日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入
児童が学校の管理下でケガなどをした際の災害共済給付に対処する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		
事業名	小学校校医等報酬費			担当課	教育総務課	予算書頁	P165	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,794千円	3,831千円		△ 37千円		△ 1.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		3,794千円		

【事業の目的】
 学校保健安全法に基づき、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、学校における健康診断、健康相談等の保健管理に関する専門的事項に関する指導、環境衛生の維持管理に関する専門的技術的指導及び技術等への従事を図る。

【事業の概要】
 ○報酬 3,794千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①児童健診
 学校保健安全法に基づき、児童の健康管理に資するため、学校医及び学校歯科医による各種健診を行う。
 (一般、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、新入学検診)

②学校環境衛生検査
 学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童等の安全の確保が図られるよう、学校薬剤師による検査を実施する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校教育用コンピューター整備費			担当課	教育総務課	予算書頁	P165	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
21,655千円	22,236千円		△ 581千円		△ 2.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,065千円		20,590千円		

【事業の目的】
 GIGAスクール構想で整備された一人一台端末を活用し、子どもたちの学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。また、教職員が行う校務についてIT化を推進し、教職員の負担軽減を図る。

【事業の概要】

○修繕料	165千円
○通信運搬費	5,053千円
○手数料	91千円
○委託料	832千円
○使用料及び賃借料	13,369千円
○備品購入費	2,088千円
○補償、補填及び賠償金	57千円

[財源内訳]
 ○教材費個人負担金等 1,065千円

[主な内容]
 ①普通教室用大型掲示装置の更新
 経年劣化が進む小学校の教室に設置されている液晶ディスプレイを3ヶ年で更新し、安定した授業環境を整備する。(令和8年度 成器南小学校、成器西小学校)

②一人一台端末のインターネット環境の提供
 通常の校内学習以外に校外学習や家庭でのオンライン学習でもインターネットを利用できる環境を提供しICT教育を推進する。

③校務支援システムの導入
 ITを活用した校務環境を整備することで教員の負担軽減を推進する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校就学援助・奨励費		担当課	教育総務課		予算書頁	P165	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,090千円		7,567千円		△ 4,477千円		△ 59.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
297千円		0千円		0千円		2,793千円		

【事業の目的】
 就学奨励費は、特別支援学級に就学する児童の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及並びに奨励を図る。
 就学援助費は、経済的理由によって就学困難な児童の保護者等について、就学に必要な経費を援助することより、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】
 ○扶助費 3,090千円

【財源内訳】
 ○特別支援教育就学奨励費補助金 287千円
 ○要保護児童就学援助費補助金 10千円

【主な内容】
 ①特別支援教育就学奨励費
 特別支援学級に入級している児童と、通常学級に籍を置く学校教育法施行令第22条の3に相当する障害を持つ児童の教育に関する経済的負担を軽減する。
 ②要保護児童就学援助費
 生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に対し、学校検診時に係る医療費と修学旅行費を援助する。
 ③準要保護児童就学援助費
 生活保護法第6条2項目に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると市が認める者に対し、学校生活における経費を援助する。

対象者数

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
特別支援奨励費	37	35	35	39	55
要保護就学援助費	1	1	1	1	1
準要保護就学援助費	57	65	65	61	75

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校振興事業費		担当課	教育総務課		予算書頁	P166	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
48,489千円		888千円		47,601千円		5,360.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
47,217千円		0千円		0千円		1,272千円		

【事業の目的】
 勝山市の小学校各種教育に必要な経費に対し助成を行い、小学校教育振興の円滑な実施及び充実を図る。

【事業の概要】
 ○補助金 48,489千円

【財源内訳】
 ○給食費負担軽減交付金 47,217千円

【主な内容】
 ①勝山市遠距離通学費補助金
 遠距離通学対象者（通年4km以上、冬季3km以上）に対して通学路の安全確保を図るとともに保護者の負担を軽減する。

遠距離通学費補助金 対象者数					(人)	
年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)	
合計	18	16	16	16	16	

②勝山市小中学生スポーツ等派遣事業補助金
 スポーツ競技力向上及び文化活動の推進を図るため、全国大会等に出場・参加する小学校の団体・個人への出場経費を支援し、保護者の負担を軽減する。

スポーツ等派遣事業補助金 対象者数					(人)	
年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)	
合計	41	50	74	100	106	

③給食費完全無償化の実施 **【新規】**[47,217千円(県47,217千円)]
 小学校の学校給食について、国の給食費負担軽減交付金（いわゆる給食無償化）の対象とならない月5,200円を超える保護者負担部分についても市単独で助成し、小学校の給食費の完全無償化を実施する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費		
事業名	小学校教材備品整備費		担当課	教育総務課		予算書頁	P166	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,272千円		4,328千円		944千円		21.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
500千円		0千円		0千円		4,772千円		
【事業の目的】 教育効果を高め、児童の基礎的・基本的な学習理解の補助や発展に資する為、教材及び図書備品の充実を図る。								
【事業の概要】 ○消耗品費 589千円 ○備品購入費 4,683千円								
[財源内訳] ○理科教育等設備備品補助金 500千円								
[主な内容] ①備品図書・新聞の充実 児童の読書活動、学習活動の推進に資する為、学校図書館の図書及び新聞を購入する。 ②標準教材品目の整備、補充 児童が新学習指導要領に基づき、基礎的な知識を習得できるよう、教材等を購入する。 ③理科教育設備の補充 【新規】 [1,000千円(国500千円)] 理科教育の充実に資する為、学習に必要な設備等を購入する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 学校維持修繕費		
事業名	小学校施設営繕費		担当課	教育総務課		予算書頁	P166	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
8,510千円		9,088千円		△ 578千円		△ 6.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		8,510千円		
【事業の目的】 小学校の通常維持補修、施設の営繕工事を行い適正な維持管理を図る。								
【事業の概要】 ○修繕料 6,020千円 ○設置工事費 1,990千円 ○補修用資材代 500千円								
[財源内訳] ○-								
[主な内容] ①施設の修繕及び補修 各学校施設等の修繕及び補修を行う。また、施設の安全な維持管理等のため、下記の工事を行う。 ②全小学校体育館入口にキーボックス設置 【新規】 [1,990千円] これまで社会体育等で使用する際の鍵の受け渡しについては学校監視員(小学校最寄りのお宅)にお願いしてきたが、今後は、体育館入口に鍵と使用簿が入るキーボックスを設置し対応する方式に変更する。また、体育館入口にキーボックスが写るよう防犯カメラを設置し、日々の出入りや予約の無い使用がないかの録画記録を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	04 学校建設費		
事業名	小学校校舎整備事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P166	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
140,341千円	15,077千円		125,264千円		830.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
55,602千円		42,500千円		0千円		42,239千円		

【事業の目的】
 小学校校舎の維持に必要な改修や整備を行うことで、施設の長寿命化を図る。

【事業の概要】
 ○給料 549千円
 ○委託料 7,200千円
 ○改修工事費 132,592千円

[財源内訳]
 ○小学校校舎整備事業補助金 55,602千円
 ○学校教育施設等整備事業債(小学校整備事業) 42,500千円

[主な内容]
 ①平泉寺小学校体育館照明設備LED化工事
【新規】 [5,317千円(国1,783千円・債2,600千円)]
 一般照明用の蛍光灯の製造、輸出入が令和9年末までに段階的に廃止されることに伴い、計画的に照明設備のLED化を進める。

②屋内運動場空調設備設置工事及び実施設計
【新規】 [135,024千円(国53,819千円・債39,900千円)]
 児童の体調を考慮し、猛暑時などに適温で体育活動ができるよう、また、災害時の避難所として運用する際にも活用できるように、屋内運動場に空調設備の設置並びに断熱改修を実施する。
 令和8年度設置 成器南小学校(ガス式)、荒土小学校(電気式)
 令和8年度設計 村岡小学校、鹿谷小学校、北郷小学校の予定

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校管理運営費			担当課	教育総務課	予算書頁	P167	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
44,181千円	43,812千円		369千円		0.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
279千円		0千円		210千円		43,692千円		

【事業の目的】
 中学校において教育課程を実施するための必要な経費を負担し、義務教育の円滑な実施を図る。
 令和9年度の勝山市立勝山中学校の開校に向け、学校運営等にかかる準備委員会の運営等を行う。

【事業の概要】

○報酬	933千円	○報償費	433千円
○旅費	123千円	○消耗品費	4,209千円
○燃料費	740千円	○食糧費	480千円
○印刷製本費	376千円	○光熱水費	15,867千円
○修繕料	450千円	○通信運搬費	558千円
○手数料	86千円	○保険料	48千円
○委託料	18,914千円	○使用料及び賃借料	59千円
○備品購入費	905千円		

[財源内訳]
 ○中学校施設使用料 201千円
 ○ふくいの食育推進事業補助金 279千円
 ○施設公衆電話料 9千円

[主な内容]
 ①中学校(3校)の管理運営
 学校運営にかかる事務や衛生管理、学習環境整備等にかかる必要経費を、年間を通して計画的に有効に執行し、円滑で適正な学校管理に努める。

②再編準備委員会の運営
 総務部会、学校運営部会、PTA部会及び施設整備部会を設置し、再編準備委員会の運営を行う。

③プール授業の委託
 市営温水プールの指定管理者にプール授業の指導を委託することで、高度な指導と天候に左右されない安定した環境での授業運営に努める。

④給食への顔が見える給食米使用の推進
 勝山市内の米作り農家・農業法人と協力し、生産者が分かる「顔が見える給食米」を給食で使用することで安心安全でおいしいご飯を供給するとともに生徒の郷土愛を醸成し、食や農業への興味関心を深める。

⑤ふくいの食育推進事業 **【新規】** [465千円(県279千円)]
 昨年6回行った県の補助事業である地場産プラスワン給食について、全て勝山市産の食材を利用し年10回実施することで、地元産の食材の魅力に触れる食育を展開する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校施設管理費			担当課	教育総務課	予算書頁	P168	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
39,050千円	38,330千円		720千円		1.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		39,050千円		
【事業の目的】								
中学校施設・設備の維持管理を適切に行い、安全で良好な学校生活の維持を図る。								
【事業の概要】								
○給料	4,578千円							
○職員手当等	1,775千円							
○共済費	998千円							
○委託料	1,957千円							
○使用料及び賃借料	29,742千円							
[財源内訳]								
○-								
[主な内容]								
①施設員（会計年度任用職員）の配置 施設員2人を配置し、生徒の安全で良好な学校生活をサポートする。								
②施設の維持管理 中学校施設の電気、機械等の法定点検並びに警備、清掃及び庭木の剪定など施設の維持管理を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校保健管理費			担当課	教育総務課	予算書頁	P168	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,807千円	1,891千円		△ 84千円		△ 4.4%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		223千円		1,584千円		
【事業の目的】								
学校保健安全法等に基づき、生徒及び教職員の健康診断や検査等を実施し、疾病の予防、適切な措置及び早期治療の実施を図る。また学校教育の円滑な実施に資する為、災害共済に加入し、学校の管理下における生徒の災害に対して補償を図る。								
【事業の概要】								
○手数料	18千円							
○委託料	1,335千円							
○負担金	454千円							
[財源内訳]								
○日本スポーツ振興センター負担金		213千円						
○日本スポーツ振興センター災害共済補助金		10千円						
[主な内容]								
①健康診断、ストレスチェック事業 学校における生徒や教職員の健康の保持増進を図るため、健康診断等を実施する。								
②日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入 生徒が学校の管理下でケガなどをした際の災害共済給付に対処する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		
事業名	中学校校医等報酬費			担当課	教育総務課	予算書頁	P169	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,576千円	1,615千円		△ 39千円		△ 2.4%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,576千円		

【事業の目的】
 学校保健安全法に基づき、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、学校における健康診断、健康相談等の保健管理に関する専門的事項に関する指導、環境衛生の維持管理に関する専門的技術的指導及び技術等への従事を図る。

【事業の概要】
 ○報酬 1,576千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①生徒健診
 学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理に資するため、学校医及び学校歯科医による各種健診を行う。
 (一般、眼科、耳鼻咽喉科、歯科健診)

②学校環境衛生検査
 学校における教育活動が安全な環境において実施され、生徒等の安全の確保が図られるよう、学校薬剤師による検査を実施する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	【新規】勝山中学校開校準備事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P169	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
306,524千円	0千円		306,524千円		新規			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
72,492千円		0千円		0千円		234,032千円		

【事業の目的】
 勝山中学校開校に向け、生徒達の学習環境を整え、未来につながる学校づくりを図る。

【事業の概要】

○報償費	300千円	○消耗品費	12,628千円
○燃料費	35千円	○印刷製本費	120千円
○光熱水費	750千円	○通信運搬費	9,910千円
○手数料	1,052千円	○委託料	6,970千円
○備品購入費	274,324千円	○公課費	435千円

[財源内訳]
 ○へき地児童生徒援助費等補助金 72,492千円

[主な内容]
 ①閉校式・開校式諸経費
 3中学校の閉校式及び勝山中学校の開校式に向けた準備を行う。

②勝山中学校各部屋備品整備
 必要備品の購入や中学校からの搬入を行い、生徒や教師の学習環境を整える。

③スクールバス運行事業者の決定及びスクールバス購入
 勝山中学校のスクールバス運行に向け、運行事業者の決定及びスクールバス12台の購入を行う。

④校歌制作業務
 勝山中学校の理念や教育目標を生徒や市民と共有し、長く歌い継がれる校歌を作成する。

⑤自校式完全給食に向けた準備
 給食室の環境整備並びに食材運搬のための備品整備等を行い、安心して安全な給食の提供に向けた準備を行う。また、給食調理事業者の決定を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	中学校教育用コンピューター整備費		担当課	教育総務課		予算書頁	P170	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
9,711千円		11,536千円		△ 1,825千円		△ 15.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		577千円		9,134千円		

【事業の目的】
 GIGAスクール構想で整備された一人一台端末を活用し、子どもたちの学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業や「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。また、教職員が行う校務についてIT化を推進し、教職員の負担軽減を図る。

【事業の概要】

○修繕料	110千円
○通信運搬費	2,699千円
○手数料	31千円
○委託料	410千円
○使用料及び賃借料	6,415千円
○補償、補填及び賠償金	46千円

[財源内訳]
 ○教材費個人負担金等 577千円

[主な内容]

①オンラインプログラミング学習教材の導入
 中学校の技術で学んでいるネットワークやプログラミングについて、新たな学習教材を導入し、生徒が個別に理解を進めることができる環境整備と教員の負担軽減を推進する。

②一人一台端末のインターネット環境の提供
 通常の校内学習以外に校外学習や家庭でのオンライン学習でもインターネットを利用できる環境を提供しICT教育を推進する。

③校務支援システムの導入
 ITを活用した校務環境を整備することで教員の負担軽減を推進する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	中学校就学援助・奨励費		担当課	教育総務課		予算書頁	P170	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,573千円		6,423千円		△ 850千円		△ 13.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
826千円		0千円		0千円		4,747千円		

【事業の目的】
 就学奨励費は、特別支援学級へ就学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及並びに奨励を図る。
 就学援助費は、経済的理由によって就学困難な生徒の保護者等について、就学に必要な経費を援助することより、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】
 ○扶助費 5,573千円

[財源内訳]
 ○特別支援教育就学奨励費補助金 826千円

[主な内容]

①特別支援教育就学奨励費
 特別支援学級に入級している生徒と、通常学級に籍を置く学校教育法施行令第22条の3に相当する障害を持つ生徒の教育に関する経済的負担を軽減する。

②要保護生徒就学援助費
 生活保護法第6条第2項に規定する要保護者に対し、学校検診時に係る医療費と修学旅行費を援助する。

③準要保護生徒就学援助費
 生活保護法第6条2項目に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると市が認める者に対し、学校生活における経費を援助する。

対象者数

	R4	R5	R6	R7 (見込)	R8 (予算)
特別支援奨励費	16	12	16	14	37
要保護就学援助費	1	2	1	1	0
準要保護就学援助費	30	29	36	38	43

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	中学校振興事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P170	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
76,074千円	33,130千円		42,944千円		129.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
14,600千円		0千円		0千円		61,474千円		
【事業の目的】								
勝山市の中学校各種教育に必要な経費に対し助成を行い、中学校教育振興の円滑な実施及び充実を図る。								
【事業の概要】								
○報酬	1,440千円	○共済費	5千円					
○旅費	61千円	○消耗品費	307千円					
○負担金	475千円	○補助金	73,166千円					
○扶助費	620千円							
[財源内訳]								
○部活動推進事業補助金		13,640千円						
○部活動指導員配置促進事業補助金		960千円						
[主な内容]								
①中学校体育連盟選手派遣補助金 スポーツ競技力向上及び文化活動の推進を図るため、奥越地区大会、県大会及び練習試合への選手派遣費に要する経費を助成する。								
②勝山市小中学生スポーツ等派遣事業補助金 スポーツ競技力向上及び文化活動の推進を図るため、全国大会等に出場・参加する中学校の団体・個人への出場経費を助成する。								
スポーツ等派遣事業補助金 対象者数						(人)		
年度	R4	R5	R6	R7 (見込)	R8 (予算)			
合計	19	34	65	82	76			
③部活動指導員設置事業 教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を3名配置する。								
④部活動の地域展開等推進事業 【拡充】 [16,522千円(国11,068千円・県2,572千円)] 教員の働き方改革を踏まえ、休日の部活動を地域の活動として実施できる環境を整える。令和8年度はスポーツ競技5団体から文化部も含めた12団体にさらに平日も拡充する。								
⑤給食費完全給食の実施 【新規】 [52,162千円] 小学校の給食費完全無償化に合わせ、中学校の学校給食についても市単独で給食費完全無償化を実施する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費		
事業名	中学校教材備品整備費			担当課	教育総務課	予算書頁	P171	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
2,103千円	2,727千円		△ 624千円		△ 22.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		2,103千円		
【事業の目的】								
教育効果を高め、生徒の基礎的・基本的な学習理解の補助や発展に資する為、教材及び図書備品の充実を図る。								
【事業の概要】								
○消耗品費		371千円						
○使用料及び賃借料		84千円						
○備品購入費		1,648千円						
[財源内訳]								
○-								
[主な内容]								
①備品図書・新聞の充実 生徒の読書活動、学習活動の推進に資する為、学校図書館の図書及び新聞を購入する。								
②標準教材品目の整備、補充 生徒が基礎的な知識を習得できるよう、教材等の購入・リースを行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 学校維持修繕費		
事業名	中学校施設営繕費			担当課	教育総務課	予算書頁	P171	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
44,948千円	3,698千円		41,250千円		1,115.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		36,500千円		0千円		8,448千円		

【事業の目的】

中学校の通常維持補修、施設の営繕工事を行い適正な維持管理を図る。

【事業の概要】

- 給料 1,086千円
- 修繕料 3,200千円
- 取壊工事費 39,500千円
- 設置工事費 664千円
- 補修用資材代 498千円

【財源内訳】

- 公共施設等適正管理推進事業債（集約化・複合化事業） 36,500千円

【主な内容】

①施設の修繕及び補修
各学校施設等の修繕及び補修を行う。また、施設の安全な維持管理等のため、下記の工事を行う。

②全中学校体育館入口にキーボックス設置 【新規】 [664千円]

これまで社会体育等で使用する際の鍵の受け渡しについては学校監視員（中学校最寄りのお宅）にお願いしてきたが、今後は、体育館入口に鍵と使用簿が入るキーボックスを設置し対応する方式に変更する。また、体育館入口にキーボックスが写るよう防犯カメラを設置し、日々の出入りや予約の無い使用がないかの録画記録を行う。

③プール解体工事 【新規】 [40,586千円（債36,500千円）]

勝山南部中学校及び勝山北部中学校の使用しなくなったプールの解体工事を実施する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	04 学校建設費		
事業名	中学校再編施設整備事業費			担当課	教育総務課	予算書頁	P171	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
424,899千円	2,867,739千円		△ 2,442,840千円		△ 85.2%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
150,600千円		273,000千円		0千円		1,299千円		

【事業の目的】

令和9年4月の勝山市立勝山中学校の開校に向け、新中学校建設のための基本的な理念及び目指すべき姿を示した基本構想をもとに、必要な機能や施設の特色等の基本的な方針を定め、施設整備を行う。

【事業の概要】

- 給料 17,934千円
- 委託料 2,069千円
- 補償、補填及び賠償金 2,500千円
- 手数料 1,236千円
- 建設工事費 401,160千円

【財源内訳】

- 社会資本整備総合交付金（都市構造再編集集中支援事業） 150,600千円
- 過疎対策事業債（中学校整備事業） 273,000千円

【主な内容】

①勝山中学校校舎等整備工事

新中学校校舎、ジオアリーナとつなぐ地下通路及び給食室の建設工事を実施する。また、市有林で育ててきた木材を利用し校舎等の木質化を図る。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		
事業名	社会教育事業費			担当課	未来創造課	予算書頁	P172	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
2,205千円	5,895千円		△ 3,690千円		△ 62.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		2,205千円		

【事業の目的】
 法及び設置条例に基づき各地区選出の社会教育委員を設置し、社会教育に関する計画の立案や教育委員会からの諮問に対する意見、必要な調査・研究を行うことで、地域の社会活動の維持・充実・成熟を目指す。

【事業の概要】

○報酬	100千円	○報償費	384千円
○旅費	3千円	○消耗品費	103千円
○印刷製本費	272千円	○通信運搬費	63千円
○筆耕翻訳料	5千円	○委託料	885千円
○使用料及び賃借料	320千円	○負担金	25千円
○補助金	45千円		

【財源内訳】
 ○-

【主な内容】

①社会教育委員の設置
 社会教育における諸計画の立案等、教育委員会からの諮問に対する研究調査の実施、社会教育団体等への助言と指導を行う。

②20歳のつどいの開催
 令和7年度に引き続き福井県立恐竜博物館を会場とし、インパクトのある勝山市ならではの20歳のつどいを開催する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		
事業名	生涯学習振興事業費			担当課	未来創造課	予算書頁	P173	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,310千円	3,491千円		△ 181千円		△ 5.2%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,720千円		1,590千円		

【事業の目的】
 市民総合大学並びにさわやか大学による、さまざまな講座の展開により、幅広い世代の学ぶ意欲に応え、健康で生きがいあふれる社会を目指す。

【事業の概要】

○報償費	2,288千円	○消耗品費	154千円
○通信運搬費	28千円	○委託料	840千円

【財源内訳】
 ○参加者負担金 1,720千円

【主な内容】

①各種学級による生涯学習
 市民総合大学並びにさわやか大学の開催など、常時学習できる機会を提供する。

R4	R5	R6	R7	R8
114	140	155	164	-

②生涯学習人材バンクの登録
 豊富な知識と技能を有する市民を「勝山市生涯学習人材バンク」に講師として登録し、市民の自主的な学習活動を支援する。
 人材バンク登録者数 39名(令和7年10月現在)

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		
事業名	生涯学習センター管理運営費		担当課	未来創造課		予算書頁	P173	
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
10,625千円		11,084千円		△459千円		△4.1%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
216千円		0千円		60千円		10,349千円		

【事業の目的】
 多種多様な学習機会の提供と、幅広い世代の学習環境づくりを目指す生涯学習センター「友楽喜」の管理運営を行う。

【事業の概要】

○報酬	5,297千円	○職員手当等	2,053千円
○共済費	1,194千円	○消耗品費	20千円
○燃料費	18千円	○光熱水費	440千円
○修繕料	50千円	○委託料	509千円
○使用料及び賃借料	912千円	○負担金	132千円

【財源内訳】

○生涯学習センター使用料 60千円
 ○社会教育指導員設置補助金 216千円

【主な内容】

①生涯学習センターの施設管理
 令和8年4月に事務所機能を勝山市民会館へ移転する。令和8年度は体育館を中心とした貸館機能のみ継続する。

生涯学習センター利用者数 () はグループ数 (単位:人)

室	R4	R5	R6	R7(R7.9現在)	R8(見込)
講習室	2,548 (36)	2,558 (35)	2,506 (34)	1,359 (22)	— (—)
調理室	0 (0)	152 (8)	164 (10)	68 (6)	— (—)
和室	28 (3)	17 (1)	0 (0)	0 (0)	— (—)
茶室	129 (1)	60 (1)	55 (1)	43 (1)	— (—)
図書室	365 (5)	0 (0)	6 (1)	0 (0)	— (—)
相談室	181 (7)	667 (10)	715 (16)	469 (8)	— (—)
体育館	6,493 (16)	6,706 (16)	6,618 (17)	3,053 (12)	— (—)
その他	1,958 (21)	2,192 (32)	2,418 (27)	1,214 (15)	— (—)
合計	11,702 (89)	12,352 (103)	12,482 (106)	6,206 (64)	— (—)

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 市史編さん費		
事業名	市史編さん事業費		担当課	商工文化課		予算書頁	P174	
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,016千円		3,354千円		662千円		19.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		244千円		3,772千円		

【事業の目的】
 勝山市史の編纂と刊行を目的に昭和38年からスタートしている。市内の史資料の収集と保存・管理・整理・調査・研究を行い、史資料の未来への継承を図るとともに、その成果を積極的に伝える。又、市内外の利用者への史資料情報の公開・活用を目指す。

【事業の概要】

○報酬	1,721千円	○共済費	29千円
○報償費	202千円	○消耗品費	221千円
○印刷製本費	13千円	○委託料	550千円
○備品購入費	1,280千円		

【財源内訳】

○勝山市史販売代 244千円

【主な内容】

①史・資料の収集と保存・管理、整理、調査・研究
 史・資料の目録作成、簡易写真撮影を行う。又、勝山の歴史についての問い合わせに対応し、史資料情報の公開・活用を行う。

②勝山市史等の書籍販売
 勝山市史等の書籍の販売を促進し、市内外の方に勝山市の歴史について知ってもらい機会を増やす。

③勝山左義長悉皆調査 【新規】 [752千円]
 勝山左義長の中で、組立を行っている上郡区の櫓の建築等の記録保存調査を行い、勝山左義長の歴史的魅力の向上に繋げる。

④市史編さん室の市立図書館への移転
 市史編さん室及び史・資料保管倉庫の市立図書館への移転に関連し、史・資料等を効率よく適切に保管するためのスチール棚等を購入する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	発掘調査事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P174
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,761千円	5,548千円		213千円		3.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,000千円		0千円		0千円		4,761千円		

【事業の目的】
 市内の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内で行われる開発行為に対し、文化財保護法に則した手続きを行い、埋蔵文化財を適切に保護する。
 国史跡白山平泉寺旧境内から出土した木製品や金属製品の適切な保存処理を行い、まほろば等での展示を行う。

【事業の概要】

○給料	2,321千円	○職員手当等	900千円
○共済費	540千円	○旅費	12千円
○消耗品費	122千円	○委託料	1,574千円
○使用料及び賃借料	292千円		

【財源内訳】
 ○遺跡発掘調査等事業補助金 1,000千円

【主な内容】

①遺跡内における開発工事の際の試掘調査
 市内の遺跡内で行われる開発行為に対して重機や発掘調査作業員を用いて、試掘調査等を行い、埋蔵文化財を適切に保護する。

②出土した木製品や金属製品の保存処理
 木製品や金属製品は、発見された状態では後世へ維持・保存できない状態のため、科学技術を用いて適切な保存処理を実施し、展示などの活用に耐えられるようにする。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	文化財保護保存修理事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P175
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
4,682千円	23,841千円		△ 19,159千円		△ 80.4%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,682千円		

【事業の目的】
 指定等文化財の保存管理や文化財指定等の推進、収蔵庫における市が保存する埋蔵文化財や民具等の保存・管理など、文化財を適切に保存管理し、未来へ継承する。

【事業の概要】

○報酬	48千円	○報償費	300千円
○旅費	55千円	○消耗品費	222千円
○燃料費	6千円	○食糧費	2千円
○光熱水費	28千円	○修繕料	225千円
○通信運搬費	26千円	○委託料	3,328千円
○使用料及び賃借料	442千円		

【財源内訳】
 ○-

【主な内容】

①縄文遺跡等資料室と三室山史跡公園の公開・活用
 まちづくり会館内の資料室や史跡公園の公開・活用を行うことで、地元や市内外の方に勝山市の歴史に興味を持ってもらう機会を作る。

②文化財の適切な保存・管理
 市文化財収蔵庫を活用して、文化財の適切な保存・管理を行う。

③県指定三室遺跡の標柱修繕
 指定文化財の標柱の根元が腐食しているため修繕を行う。

④文化財及び近代化産業遺産説明板修正修繕
 ジオパークロゴ等の削除を行う。

⑤市指定小笠原家累代廟所の修繕に伴う記録保存調査 **【新規】**[2,950千円]
 経年劣化や自然災害等で石造物の劣化が著しい箇所が見られるため、管理団体である開善寺が今後修繕の検討をしていることから、修繕前の記録保存調査（主に廟所の現況の3次元測量）を行うとともに、当時の小笠原家の政治的・文化的な位置づけを考える基礎資料とする。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	日本遺産活用推進事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P175
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
871千円	871千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		871千円		

【事業の目的】
 令和元年5月20日に認定された日本遺産「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」について、「福井・勝山日本遺産活用推進協議会」を中心に人材育成や普及啓発、情報発信等の事業を展開しながら、観光振興や地域振興につなげていく。

【事業の概要】
 ○旅費 61千円
 ○負担金 810千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①日本遺産活用推進事業
 「福井・勝山日本遺産活用推進協議会」への勝山市負担分。滞在コンテンツを活用したイベント等の開催や人材育成(認定ガイド養成、未来の語り部育成)を実施し、観光振興や地域振興につなげる。又、「日本遺産の日」イベントのPRブースに参加し、勝山の日本遺産を広報する。

②福井・勝山日本遺産活用推進協議会事務局
 令和8年度～10年度は勝山市が協議会の事務局を受け持つ。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	勝山城博物館連携事業費			担当課	商工文化課		予算書頁	P176
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,827千円	2,049千円		△ 222千円		△ 10.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		200千円		1,627千円		

【事業の目的】
 勝山城博物館の燻蒸庫を利用して、市が所蔵する史資料等の燻蒸を行うとともに、収蔵庫を貸借して、市所有の貴重な文化財等を適切に保存・管理する。又、共催展を開催し、市及び市民が所有する史資料の公開展示の場とすることで、歴史に触れる機会を創り出す。

【事業の概要】
 ○使用料及び賃借料 977千円
 ○負担金 500千円
 ○補助金 350千円

[財源内訳]
 ○勝山城博物館連携特別展入場料 200千円

[主な内容]
 ①勝山城博物館の収蔵庫の借用
 特別収蔵庫や一般収蔵庫を借用することで、市の文化財等を適切に保管・収蔵する。

②勝山城博物館・勝山市連携共催展の開催
 連携して共催展を開催することで、市及び市民が所有する史・資料の公開の場とし、市内外の方に勝山市の歴史について知ってもらう機会とする。
 関連行事として講演会・展示解説・見学会を実施する。

③絵画等コンテストへの補助
 勝山市の文化財や城などを題材とした絵画等のコンテスト事業へ補助を行い、勝山市の歴史的な魅力を広く知ってもらうとともに、再発見する機会とする。

共催展入場者数 (人)

	R4	R5	R6	R7	R8(予算)
人数	3,208/68日間	2,446/68日間	2,886/57日間	5,412/111日間	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	旧木下家住宅管理運営費			担当課	商工文化課		予算書頁	P176
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
15,778千円		3,380千円		12,398千円		366.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
7,221千円		0千円		5千円		8,552千円		

【事業の目的】
 国の重要文化財に指定された北郷の庄屋屋敷旧木下家住宅の保存や管理を行い、勝山市における重要な歴史的建造物として市内外の方に広く公開し、地域振興や貴重な観光資源として活用していく。

【事業の概要】

○報償費	10千円	○消耗品費	54千円
○燃料費	3千円	○食料費	1千円
○光熱水費	168千円	○修繕料	100千円
○通信運搬費	33千円	○委託料	3,903千円
○使用料及び賃借料	32千円	○改修工事費	10,714千円
○設置工事費	750千円	○雪囲材料代	10千円

【財源内訳】

○旧木下家住宅使用料	5千円
○文化資源活用事業費補助金	7,221千円

【主な内容】

①旧木下家住宅の保存・管理
 旧木下家住宅の適切な保存・管理を行い、重要な歴史的建造物として後世に伝える。また、建物の直近は除草剤を散布、それ以外の場所は上野区へ草刈りを委託し、敷地内の良好な景観を維持する。

②旧木下家住宅の公開・活用 **【拡充】** [500千円]
 活用推進のためのイベント実施を北郷町まちづくり協議会に委託する。

③茅葺屋根差し茅修繕工事 **【新規】** [11,110千円(国7,221千円)]
 主屋西側と袖部の境部分の日当たりが悪い部分で茅が傷んでいるため、差し茅(茅葺の部分的な補修作業)を行い、建物の内側まで傷んでしまうことを防ぐ。

④説明板設置工事 **【新規】** [750千円]
 重要文化財としての価値を知ってもらうために旧木下家住宅の歴史や建物構造等を解説した説明板の設置を行う。

入館者数	(人)				
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
人数	735	1,006	1,040	1,100	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	白山平泉寺歴史探遊館管理運営費			担当課	商工文化課		予算書頁	P177
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
15,993千円		14,965千円		1,028千円		6.9%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		106千円		15,887千円		

【事業の目的】
 国史跡白山平泉寺旧境内の総合案内施設である白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」において、平泉寺を中心とした歴史や発掘調査成果等をわかりやすく紹介し、市内外の人びとが集い、学び、再発見できる空間にする。又、調査・研究を行い、その成果を積極的に伝えることで博物館としての魅力を高めるとともに、歴史遺産等の未来への継承を図る。

【事業の概要】

○報酬	5,145千円	○職員手当等	1,995千円
○共済費	1,179千円	○報償費	269千円
○消耗品費	563千円	○燃料費	42千円
○印刷製本費	459千円	○光熱水費	2,282千円
○修繕料	357千円	○通信運搬費	55千円
○委託料	3,540千円	○使用料及び賃借料	92千円
○雪囲材料代	15千円		

【財源内訳】

○白山平泉寺歴史探遊館使用料	5千円
○自動販売機設置・電気料等	32千円
○図録販売代金	60千円
○白山平泉寺土産物グッズ売上代金	9千円

【主な内容】

①ガイド施設「まほろば」の管理と運営
 平泉寺の総合案内施設として建物の適切な維持管理を行い、平泉寺の歴史や自然をわかりやすく紹介・展示する。又、講座・ワークショップの開催や市内観光情報の提供を行う。

②調査研究・展示普及
 まほろばを平泉寺の研究センターとして位置づけ、平泉寺を中心とした古代～近世の調査研究を進める。令和8年度は寺院の食文化をテーマに企画展・フォーラムを行う。また、中世石垣をテーマにブックレット発刊等を行い、調査研究の成果を紹介する。

入館者数	(人)				
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
人数	23,602	30,169	39,417	40,000	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	文化振興事業費			担当課	未来創造課	予算書頁	P177	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
4,588千円	3,306千円		1,282千円		38.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,031千円		3,557千円		

【事業の目的】
幅広い世代がさまざまな機会を通じて文化活動に触れ、親しむことができる環境をつくることで、文化活動の活性化及び文化水準の向上を目指す。

【事業の概要】

○報償費	375千円	○旅費	61千円
○消耗品費	32千円	○食糧費	25千円
○印刷製本費	546千円	○通信運搬費	2千円
○広告料	220千円	○手数料	91千円
○委託料	1,664千円	○使用料及び賃借料	121千円
○負担金	435千円	○補助金	1,016千円

【財源内訳】

○イベント入場料	931千円
○公共ホール邦楽活性化事業助成金	100千円

【主な内容】

①「かつやまWakuWaku文化フェスタ2026」の実施
市民総合文化祭の共催事業として開催する。ジオアリーナを中心に、かつやまWakuWaku文化フェスタを開催し、より多くの文化芸術に触れる機会を創出する。

②市民総合文化祭の実施
「かつやまWakuWaku文化フェスタ2026」の共催事業として実施する。

③公共ホール邦楽活性化事業 【新規】 [678千円(他531千円)]
一般財団法人地域創造の助成事業を受け、邦楽分野の演奏家を招き、ホールでの演奏会と、中学校生徒との地域交流プログラムを実施することで、創造性豊かな地域づくりを目指す。

④宝くじ文化講演の実施 【新規】 [588千円(他500千円)]
一般財団法人自治総合センターの助成事業を受け、こどもに人気のあるアーティスト(MayJ. 他)によるコンサートを開催する。

⑤文化芸術イベント開催事業補助金 【新規】 [900千円]
はたや記念館ゆめおれ勝山を舞台とした文化芸術イベントを開催することで、市民が気軽に文化芸術に触れる機会とし、文化芸術に対する理解や完成を育む。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 文化振興費		
事業名	史跡整備費			担当課	商工文化課	予算書頁	P178	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
20,815千円	12,886千円		7,929千円		61.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
11,174千円		0千円		2千円		9,639千円		

【事業の目的】
国史跡白山平泉寺旧境内(約200ha)の保存管理について、史跡白山平泉寺旧境内調査整備指導専門家会議の指導・助言を得ながら各種事業を進める。又、史跡内で行われる現状変更について、適切に対応し、国史跡のより良い保存管理に努める。史跡公有地化エリアや南谷発掘整備地の適切な保存管理と環境美化に努める。

【事業の概要】

○報酬	2,605千円	○職員手当等	1,011千円
○共済費	601千円	○報償費	110千円
○旅費	137千円	○消耗品費	162千円
○燃料費	215千円	○食糧費	1千円
○印刷製本費	528千円	○光熱水費	177千円
○修繕料	981千円	○通信運搬費	21千円
○手数料	27千円	○委託料	1,499千円
○使用料及び賃借料	3千円	○整備工事費	12,529千円
○敷砂利等代	135千円	○負担金	56千円
○公課費	17千円		

【財源内訳】

○行政財産目的外使用料	2千円
○歴史生き生き史跡等総合活用整備事業補助金	8,381千円
○国県指定文化財保存修理等補助金	2,793千円

【主な内容】

①史跡公有地や南谷発掘整備地の適切な保存管理や環境美化
適切な保存管理や環境美化により、来訪者の利便性を高め、史跡に触れる機会をつくる。

②見学路整備に伴う発掘調査で出土した遺物整理及び見学路整備工事
【新規】 [16,763千円(国8,381千円・県2,793千円)]
国史跡白山平泉寺旧境内の一部未整備区間となっている見学路・水路の整備に向けた発掘調査で出土した遺物整理を行う。又、整備工事を実施し、発掘調査・整備報告書を刊行する。

③史跡内で行われる現状変更への対応
適切に対応し、国史跡のより良い保存管理に努める。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 図書館費		
事業名	図書館管理運営費			担当課	図書館		予算書頁	P179
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
79,937千円		64,908千円		15,029千円		23.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
55千円		36,700千円		96千円		43,086千円		

【事業の目的】
 社会情勢や生活に役立つ題材をテーマとした関連図書の特集や庁内関係課と連携した企画を実施する。図書館まつりを開催して、今まで図書館を利用したことがなかった方にも多く来館していただけるように努める。また、ブックスタート事業・図書館や子育て支援センターでの乳幼児向けの読み聞かせなど対面式でのアプローチにより低年齢から本と触れ合う機会を設ける。さらに学校図書館の整備、こども園・学校・まちづくり会館などへの団体貸出・情報共有など関係機関との連携により乳児から高齢者まで切れ目のないサービスを提供する。加えてワンストップでの問題解決や生活に役立つ図書のレファレンスにも応える。そして、エレベーターリニューアル工事を実施し、ハード面からも読書環境を整える。このように図書館の特性を生かしながら市民のニーズを捉え、図書館を本に親しむ空間として利用促進するとともに資料、情報及び環境を整備し、魅力ある図書館となるよう事業の推進に努める。

【事業の概要】

○報酬	12,914千円	○給料	1,092千円
○職員手当等	5,000千円	○共済費	2,981千円
○報償費	184千円	○消耗品費	569千円
○燃料費	49千円	○食糧費	3千円
○光熱水費	6,075千円	○修繕料	100千円
○通信運搬費	181千円	○委託料	4,804千円
○使用料及び賃借料	6,191千円	○改修工事費	39,710千円
○施設用資材代	40千円	○雪囲材料代	20千円
○負担金	24千円		

【財源内訳】

○行政財産目的外使用料	17千円
○自動販売機設置・電気料等	36千円
○図書コピーサービス代	43千円
○母子保健衛生費補助金	55千円
○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)	36,700千円

【主な内容】

- ① 図書館の維持・管理
 図書館の適正な維持・管理を行う。
- ② ブックスタート事業の推進
 生後6ヶ月～1歳6ヶ月の乳児と保護者を対象としたブックスタート事業を推進する。
- ③ 図書館まつりの開催
 図書館まつりを開催し、今まで図書館を利用したことがなかった方にも来館していただき、今後新たな利用者となるよう努める。
- ④ エレベーターリニューアル工事 【新規】 [40,802千円(債36,700千円)]
 エレベーターのリニューアル工事を実施し、適正な施設の維持管理に努める。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 図書館費		
事業名	図書館資料費			担当課	図書館		予算書頁	P181
R8当初予算額(A)		R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
7,290千円		7,216千円		74千円		1.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		5千円		7,285千円		

【事業の目的】
 新刊図書・基本参考図書・郷土資料・視聴覚資料・新聞・雑誌等の購入及び管理により市民ニーズに対応した図書資料の充実を図る。

【事業の概要】

○消耗品費	1,044千円	○委託料	308千円
○使用料及び賃借料	33千円	○備品購入費	5,905千円

【財源内訳】

○図書資料弁償代金	5千円
-----------	-----

【主な内容】

- ① 図書資料の充実
 新刊図書・基本参考図書・郷土資料・視聴覚資料・新聞・雑誌等の購入及び管理を行い、市民ニーズに対応した図書資料の充実を図る。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費		
事業名	スポーツ推進委員会費		担当課	健康体育課		予算書頁	P181	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,202千円		1,066千円		136千円		12.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,202千円		
【事業の目的】								
市民が、自身の健康管理と体力向上に関心を持つよう、スポーツ推進委員が中心になって、スポーツイベントや教室の企画・立案・実施や体力測定を行い生涯スポーツを推進する。								
【事業の概要】								
○報酬	927千円		○旅費	81千円				
○通信運搬費	12千円		○負担金	28千円				
○補助金	154千円							
【財源内訳】								
○-								
【主な内容】								
①スポーツ推進委員の委嘱 2年任期で22人を委嘱。(1年目)								
②各種スポーツ行事に協力 各地区で開催されるニュースポーツ体験会へ指導者を派遣し、生涯スポーツを推進する。高齢者体力測定を実施し、体力向上の意識を高める。								
③研修会へ参加 北陸地区スポーツ推進委員研修会、福井県スポーツ推進委員研修会へ参加し、生涯スポーツを指導するための技術と知識を高める。 令和8年度は北陸地区スポーツ推進委員研修会を石川県加賀市で開催され、福井県代表として勝山市が「たいなそう」の軌跡を題して発表するため、例年より多くの推進員を研修会に派遣する。 市スポーツ推進委員会で各種生涯スポーツの研修を行い相互に技術と知識を共有する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費		
事業名	体育総務諸経費		担当課	健康体育課		予算書頁	P182	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
22,004千円		19,233千円		2,771千円		14.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		22,004千円		
【事業の目的】								
市民の誰もが楽しくスポーツに取り組めるよう、市のスポーツ振興の事務を適正に行う。								
【事業の概要】								
○報酬	12,294千円		○職員手当等	3,928千円				
○共済費	2,686千円		○報償費	1,220千円				
○旅費	46千円		○燃料費	59千円				
○修繕料	272千円		○通信運搬費	46千円				
○手数料	338千円		○委託料	31千円				
○使用料及び賃借料	926千円		○備品購入費	31千円				
○負担金	10千円		○補助金	110千円				
○公課費	7千円							
【財源内訳】								
○-								
【主な内容】								
①スポーツ振興の適正な事務 必要な職員を配置し、円滑かつ効率的な体育総務に努める。								
②広域スポーツ大会事業への補助 広域で開催されるスポーツ大会の運営に補助し、競技力の向上を図る。								
③体育施設の受付を電子申請及び電子決済で対応し、利用者の利便性を高める。								
④体育施設の入口のスマートロック化及びD×化 【拡充】 [1,103千円] 林業者健康トレーニングセンター及び市民球場の入口にスマートロックを設置に加え、B&G海洋センターのスマートロック化を実施して利用者の利便性を高める。更に福井県施設予約システム(よやくーる)とスマートロックを連携させて、利用者へ暗証番号を自動的に配信できるようにする。								
⑤福井ユナイテッドFC サッカー教室 【新規】 [480千円] 包括連携協定を締結している福井ユナイテッドFCの選手を招き、全小中学校でサッカー教室を開催する。								
【次頁へ】								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費		
事業名	体育総務諸経費		担当課	健康体育課		予算書頁	P182	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
22,004千円	19,233千円		2,771千円		14.4%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		22,004千円		

【前頁より】

- ⑥福井ユナイテッドFC 勝山ホームタウンデー
 福井ユナイテッドFCを応援する勝山ホームタウンデーを実施する。勝山市から応援バス及びハーフタイム時に勝山賞の抽選会を設けて、勝山市をPRする。
- ⑦福井ブローウィングズ 無料観戦企画 【新規】 [690千円]
 スポーツへの夢や憧れを抱く子どもたちにプロスポーツを身近に感じてもらうため、福井ブローウィングズのホームゲームに市内の親子115名を無料招待する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事業名	屋内体育施設管理運営費		担当課	健康体育課		予算書頁	P183	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,163千円	8,017千円		△ 2,854千円		△ 35.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		566千円		4,597千円		

【事業の目的】

屋内体育施設（B&G海洋センター、林業者健康トレーニングセンター、市営温水プール）を適正に維持管理することにより、生涯スポーツができる環境を整備する。

【事業の概要】

○報償費	55千円	○旅費	105千円
○消耗品費	103千円	○燃料費	5千円
○光熱水費	858千円	○修繕料	500千円
○通信運搬費	65千円	○委託料	1,798千円
○使用料及び賃借料	777千円	○補修用資材代	13千円
○備品購入費	850千円	○負担金	34千円

【財源内訳】

○屋内体育施設使用料	450千円
○行政財産目的外使用料	12千円
○自動販売機設置・電気料等	60千円
○B&G財団海と日本プロジェクト活動助成金	44千円

【主な内容】

- ①B&G海洋センターの管理運営
 B&G海洋センターを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。
- ②林業者健康トレーニングセンターの管理運営
 林業者健康トレーニングセンターを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。
- ③市営温水プールの管理運営
 指定管理を継続し、市営温水プールを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。

	利用人数 (人)				
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
温水プール	38,718	44,779	43,580	43,000	—
B&G海洋センター	11,835	10,703	7,314	9,821	—
林業者健康トレーニングセンター	3,136	4,397	4,729	4,800	—

- ④砂 ASO Beach 海と日本プロジェクトの開催
 様々な水辺のレクリエーションを行い、楽しく海に親しみ参加者に対し、「海の日」と「海の安全」への理解を深める機会を提供する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事業名	屋外体育施設管理運営費		担当課	健康体育課		予算書頁	P184	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
4,971千円	5,592千円		△ 621千円		△ 11.1%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		280千円		4,691千円		

【事業の目的】

屋外体育施設（市営庭球場、長山公園グラウンド、北部中学校ナイター施設、弁天グラウンド、あさひ公園グラウンド、長尾山総合公園クロスカントリーコース）を適正に維持管理することにより、生涯スポーツができる環境を整備する。

【事業の概要】

○消耗品費	220千円	○燃料費	7千円
○光熱水費	3,337千円	○修繕料	200千円
○手数料	2千円	○委託料	862千円
○補修用資材代	15千円	○備品購入費	328千円

[財源内訳]

○屋外体育施設使用料 280千円

[主な内容]

①市営庭球場の管理運営

市営庭球場を適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。

②長山公園グラウンド、弁天グラウンド等の管理運営

長山公園グラウンド、弁天グラウンド、北部中学校ナイター施設、あさひ公園グラウンドを適正に管理し、生涯スポーツができる環境を整備する。

③長尾山総合公園クロスカントリーコースの備品整備

長尾山総合公園クロスカントリーコースのレンタル用クロスカントリースキー用品を整備し、利用者の利便性を高める。

利用人数

(人)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
長尾山総合公園クロスカントリーコースの利用者数	282	338	321	340	—

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		
事業名	勝山市体育館管理運営費		担当課	健康体育課		予算書頁	P184	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
26,916千円	26,257千円		659千円		2.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		7,349千円		19,567千円		

【事業の目的】

勝山市体育館「ジオアリーナ」を適正に維持管理することにより、生涯スポーツの環境としてばかりでなく、大きな競技スポーツが開催できる環境、また、その他イベントができる環境として整備する。

【事業の概要】

○消耗品費	396千円	○燃料費	122千円
○光熱水費	15,424千円	○修繕料	1,320千円
○通信運搬費	131千円	○手数料	19千円
○委託料	9,334千円	○使用料及び賃借料	76千円
○施設用資材代	94千円		

[財源内訳]

○勝山市体育館使用料	7,000千円
○行政財産目的外使用料	48千円
○自動販売機設置・電気料等	300千円
○施設公衆電話料	1千円

[主な内容]

①勝山市体育館の施設管理

生涯スポーツの環境ばかりでなく、競技スポーツの環境やその他イベント会場として、勝山市体育館を適正に管理する。

②トレーニングルーム機器の整備

トレーニング機器を整備し、利用者の利便性を高める。

利用人数

(人)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
勝山市体育館	87,355	87,837	94,303	94,000	—
トレーニングルーム	15,845	16,213	23,833	24,000	—

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費		
事業名	勝山恐竜クロカンマラソン事業費		担当課	健康体育課		予算書頁	P185	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
15,700千円	15,102千円		598千円		4.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		12,800千円		2,900千円		

【事業の目的】
 クロカンマラソンを開催することで、市民の健康増進を図るとともに、勝山市の魅力
 を県内外に発信する。

【事業の概要】
 ○委託料 15,700千円

[財源内訳]
 ○参加者負担金 4,800千円
 ○スポーツ振興くじ助成金 8,000千円

[主な事業]
 ①クロカンマラソンの開催
 ジオアリーナから平泉寺方面をコースとしたマラソン大会を開催する。参加者数の増
 やすために20キロの部をハーフマラソンの部に変更する。

②ゲストランナーの招聘
 毎回来ていただいている君原健二氏に加え、昨年引き続き川内優輝選手を招聘する。

勝山恐竜クロカンマラソン (人)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
エントリー数	1,313	1,433	1,636	1,624	1,900

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費		
事業名	スポーツ振興事業費		担当課	健康体育課		予算書頁	P185	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
6,915千円	3,427千円		3,488千円		101.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,947千円		4,968千円		

【事業の目的】
 競技スポーツの向上と市民のスポーツへの参加する機運を高めるため、全国大会等出
 場選手激励、学校施設開放、スポーツライフ推進関連の大会、教室などを開催する。

【事業の概要】
 ○報償費 1,050千円 ○旅費 93千円
 ○消耗品費 45千円 ○通信運搬費 29千円
 ○委託料 5,598千円 ○備品購入費 100千円

[財源内訳]
 ○企画型寄附金(公募型事業資金) 1,947千円

[主な事業]
 ①全国大会等への出場選手、監督の激励

	全国大会等出場人数 (件)				
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
全国大会	111	137	164	162	—
国際大会	1	6	2	1	—

②スポーツライフ推進事業委託
 子どもから大人まで参加できる各種競技大会や教室を開催する。

③学校施設開放
 学校の体育施設を社会体育で利用できるように開放する。

④相撲部屋(安治川部屋)合宿の誘致 【新規】 [1,630千円(他815千円)]
 現大関の安青錦関が所属する安治川部屋の合宿を市内に誘致することにより、市民等
 との交流を行うなかで、地域の活性化につなげつつ、市内の相撲選手の技術向上や新た
 な力士の育成を図る。

⑤トップアスリートによるバドミントンクリニックの開催 【新規】 [2,264千円
 (他1,132千円)]
 バドミントンのオリンピック出場選手が所属する実業団チームを講師に迎え、市内の
 バドミントン選手等へ指導する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年																									
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費																										
事業名	市民体育大会開催事業費			担当課	健康体育課	予算書頁	P186																									
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)																											
1,360千円	1,360千円		0千円		0.0%																											
予算額の財源内訳																																
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)																										
0千円		0千円		0千円		1,360千円																										
<p>【事業の目的】 市民体育大会の開催により、市民が競技スポーツを行う機会提供と、競技力の向上を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○委託料 1,360千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な事業] ①各種スポーツ競技大会の開催 市スポーツ協会に委託し、各種スポーツ競技大会を開催する。 総合の部 11競技(地区対抗) 普及の部 13競技</p> <p>市民体育大会参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(見込)</th> <th>R8(予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合(競技)</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>普及(競技)</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>参加者(人)</td> <td>1,331</td> <td>1,264</td> <td>1,470</td> <td>1,418</td> <td>1,480</td> </tr> </tbody> </table>										R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)	総合(競技)	9	11	10	10	11	普及(競技)	12	13	12	12	13	参加者(人)	1,331	1,264	1,470	1,418	1,480
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)																											
総合(競技)	9	11	10	10	11																											
普及(競技)	12	13	12	12	13																											
参加者(人)	1,331	1,264	1,470	1,418	1,480																											

予算	会計		一般会計		予算区分		現年																			
	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育振興費																				
事業名	市スポーツ協会育成事業費			担当課	健康体育課	予算書頁	P186																			
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)																					
4,207千円	4,207千円		0千円		0.0%																					
予算額の財源内訳																										
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)																				
0千円		0千円		0千円		4,207千円																				
<p>【事業の目的】 スポーツ協会を育成することにより、各地区のスポーツ協会や各競技団体の育成、県民スポーツ祭への派遣を推進し、市民スポーツの機会の提供と競技力向上を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○補助金 4,207千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な事業] ①市スポーツ協会活動補助 協会及び協会に加盟する団体の行うスポーツ事業への助成や県民スポーツ祭への選手派遣事業に対して助成を行う。</p> <p>県民スポーツ祭市町対抗選手派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(見込)</th> <th>R8(予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣(競技)</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>派遣(人)</td> <td>241</td> <td>265</td> <td>315</td> <td>300</td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table>										R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)	派遣(競技)	18	19	22	22	25	派遣(人)	241	265	315	300	330
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)																					
派遣(競技)	18	19	22	22	25																					
派遣(人)	241	265	315	300	330																					

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	12 公債費	項	01 公債費	目	01 元金		
事業名	市債償還元金		担当課	財政課		予算書頁	P187	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,203,980千円	1,136,526千円		67,454千円		5.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		44,953千円		1,159,027千円		

【事業の目的】
 将来にわたり安定的な財政運営を図るため、地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達する。また、当該借入資金に係る元金償還を行う。

【事業の概要】
 ○償還金、利子及び割引料 1,203,980千円

[財源内訳]
 ○市営住宅使用料 9,569千円
 ○減債基金繰入金 35,384千円

[主な内容]
 ①償還元金支払事務
 遅滞することなく支払事務を行う。

償還額及び市債残高 (千円)

	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(予算)
元金	1,214,917	1,162,109	1,141,754	1,135,725	1,203,980
利子	36,959	35,516	40,427	59,073	117,526
市債残高	12,138,641	12,083,580	12,740,565	15,291,640	15,009,660

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	12 公債費	項	01 公債費	目	02 利子		
事業名	市債償還利子		担当課	財政課		予算書頁	P187	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
117,526千円	62,021千円		55,505千円		89.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,922千円		115,604千円		

【事業の目的】
 将来にわたり安定的な財政運営を図るため、地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達する。また、当該借入資金に係る利子を支払う。

【事業の概要】
 ○償還金、利子及び割引料 117,526千円

[財源内訳]
 ○市営住宅使用料 1,154千円
 ○減債基金繰入金 768千円

[主な内容]
 ①償還利子支払事務
 遅滞することなく支払事務を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	12 公債費	項	01 公債費	目	02 利子		
事業名	一時借入金利子		担当課	財政課		予算書頁	P187	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,000千円	3,000千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		3,000千円		

【事業の目的】
健全な財政運営を図るため、一時的な支払資金不足を補うことを目的に短期借入を行う。また、当該借入資金に係る利子を支払う。

【事業の概要】
○償還金、利子及び割引料 3,000千円

【財源内訳】
○-

【主な内容】
①償還利子支払事務
遅滞することなく支払事務を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	12 公債費	項	01 公債費	目	03 公債諸費		
事業名	減債基金積立金		担当課	財政課		予算書頁	P187	
R8当初予算額(A)	R7当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
77,811千円	2,211千円		75,600千円		3,419.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		8,811千円		69,000千円		

【事業の目的】
将来の地方債償還による財政圧迫に備えるため、減債基金に積み立てを行い安定的な財政運営を図る。

【事業の概要】
○積立金 77,811千円

【財源内訳】
○減債基金利子 8,811千円

【主な内容】
①基金積立
将来の地方債償還による財政圧迫に備えるため、減債基金に積み立てを行う。

②臨時財政対策債償還基金費の積み立て
令和8年度の普通交付税基準財政需要額の費目に臨時財政対策債償還基金費が計上されることに伴い、当該算定費目での需要額を見込んだ。当該費目の算定額については、令和9年度以降の基準財政需要額には算定されなくなることから、この措置に対応するため減債基金への積み立てを行う。

R4	R5	R6	R7 (見込)	R8 (予算)
2,289	2,033	2,059	2,049	2,091